

第2回福井市下水道事業経営戦略 策定審議委員会

令和3年9月2日

福井市企業局
上下水道経営部 経営管理課

1

第2回委員会の議題

- 1 投資計画の変更について
- 2 財政計画の変更について
- 3 下水道使用料改定の見直しについて
- 4 経営基盤強化の取組について
- 5 フォローアップ、今後の見直しについて

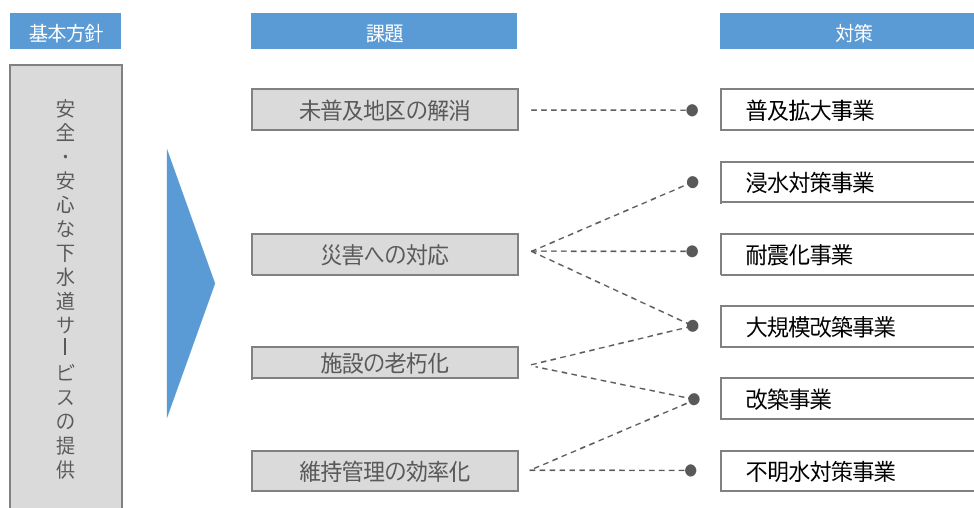
2

1 投資計画の変更

(1) 投資計画の変更

- ◇本市の下水道事業が抱える課題に対応し、将来にわたって安全・安心なサービスを提供するための投資計画を作成
- ◇計画作成時に想定できなかった事象、国の新たな施策等に対応するため、事業費を増額

<課題と対策>



3

1 投資計画の変更

(1) 投資計画の変更

- ◇事業費の精査… 10年間の事業費 664.1億円
(経営戦略改定前との比較 +105.7億円)
(第1回委員会時点との比較 △15.4億円)

(単位：億円)

事業名	経営戦略改定前	
	10年間の事業費(a)	うち今後5年間
1 普及拡大事業	221.1	81.8
2 雨水対策事業 (ポンプ場更新除く)	19.5	9.5
3 雨水対策事業 (ポンプ場更新)	153.0	73.5
4 管渠更新事業	50.6	27.8
5 処理場ポンプ場の更新事業	74.5	38.0
6 耐震化事業	4.3	4.1
7 事務費等	35.4	17.0
計	558.4	251.7

(単位：億円)

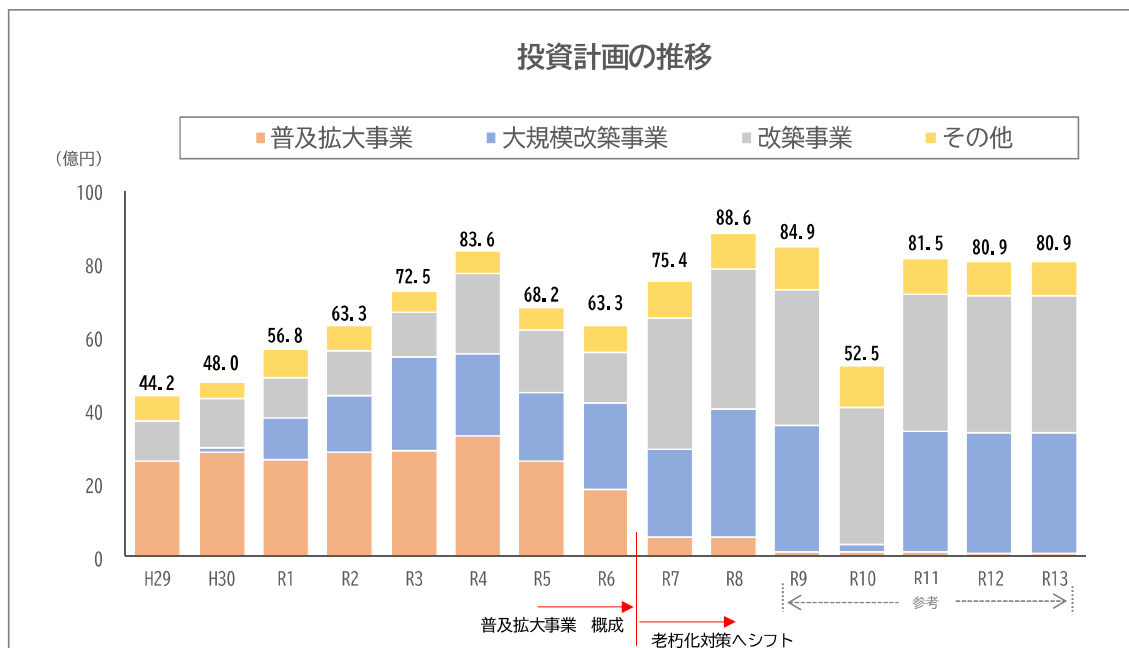
事業名	見直し後		増減額 (b-a)	増減理由
	10年間の事業費(b)	うち今後5年間		
ア 普及拡大事業	227.6	88.3	6.5	工法の変更、計画区域の一部拡大
イ 浸水対策事業	21.9	9.7	2.4	耐水化事業の追加
ウ 大規模改築事業	178.4	124.3	25.4	足羽ポンプ場の設計変更
エ 改築事業	186.1	126.8	61.0	ストックマネジメント計画に基づく変更
カ 管渠	82.4	59.6	31.8	
キ 処理場・ポンプ場	103.7	67.2	29.2	
オ 耐震化事業	5.9	5.7	1.6	事業の一部前倒し
カ 不明水対策事業	8.5	7.0	8.5	新規
キ 事務費等	35.7	17.3	0.3	
計	664.1	379.1	105.7	

4

1 投資計画の変更

(2) 投資計画の推移

- ◇令和6年度まで 普及拡大事業を計画的に実施
- ◇令和7年度以降 老朽化対策が投資計画の中心に



5

2 財政計画の変更

(1) 主な変更点

- ◇投資計画の変更に伴う財源の変更
- ◇将来人口予測の見直しに伴う下水道使用料収入の変更
- ◇昨今の金利情勢を反映した支払利息の変更

→ 主な変更点、事業の進捗を踏まえて、今後の見通しを試算
※H29～R2年度は決算値、R3年度以降は見込み
※今後の経営状況把握のためR9からR13年度の見込みも併記

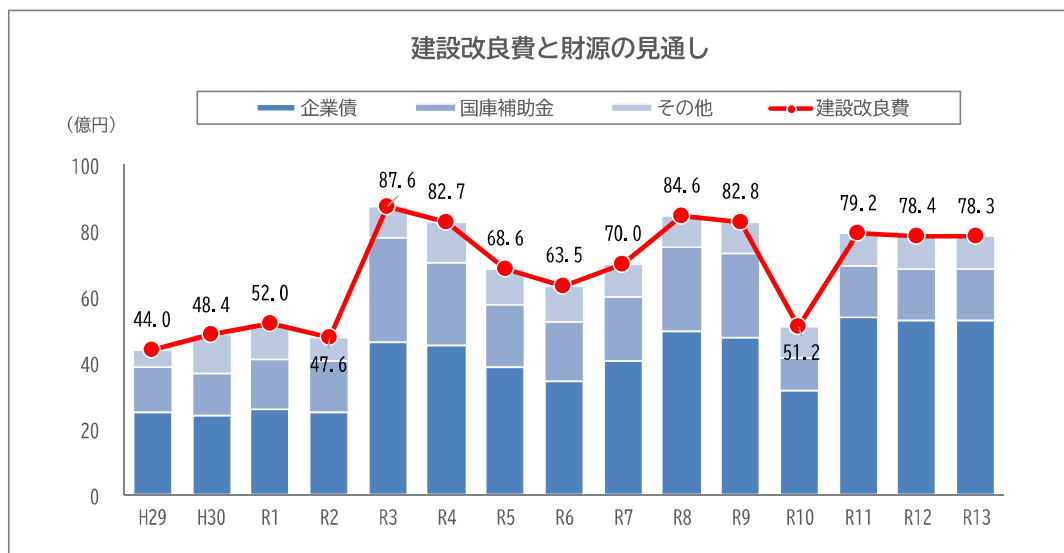
6

2 財政計画の変更

(2) 投資額及び財源の見通し

◇投資計画の事業費に、予算の執行実績を考慮し、執行見込みを試算

◇投資の主な財源は、企業債、国庫補助金



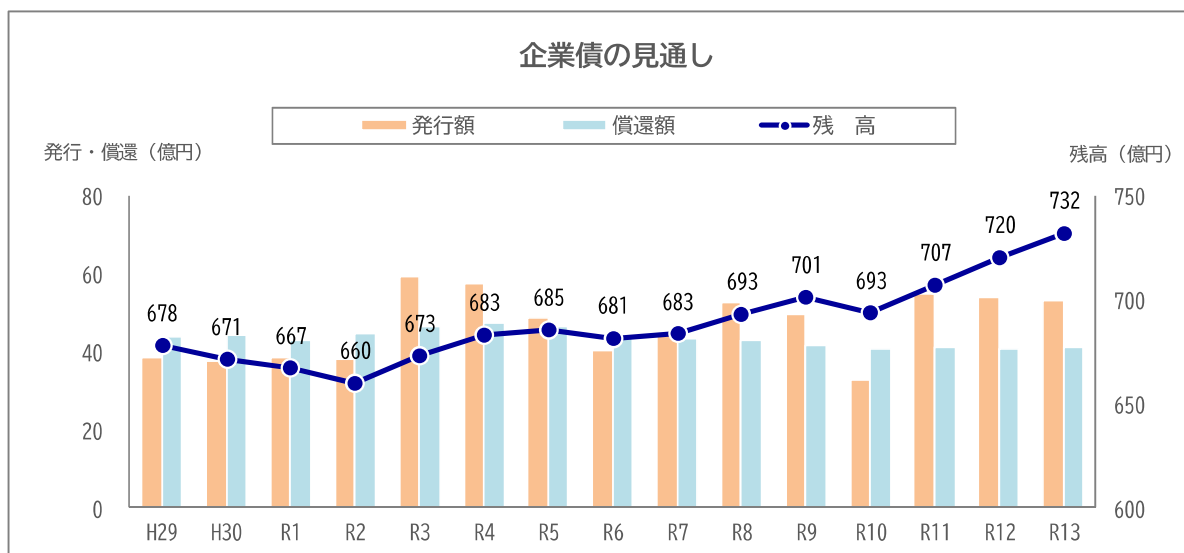
7

2 財政計画の変更

(3) 企業債の見込み

◇令和3年度以降は、建設改良費の増（加茂河原・足羽ポンプ場などの大規模施設の更新等）により発行額が増加

◇発行額が償還額を上回り、企業債残高も増加



8

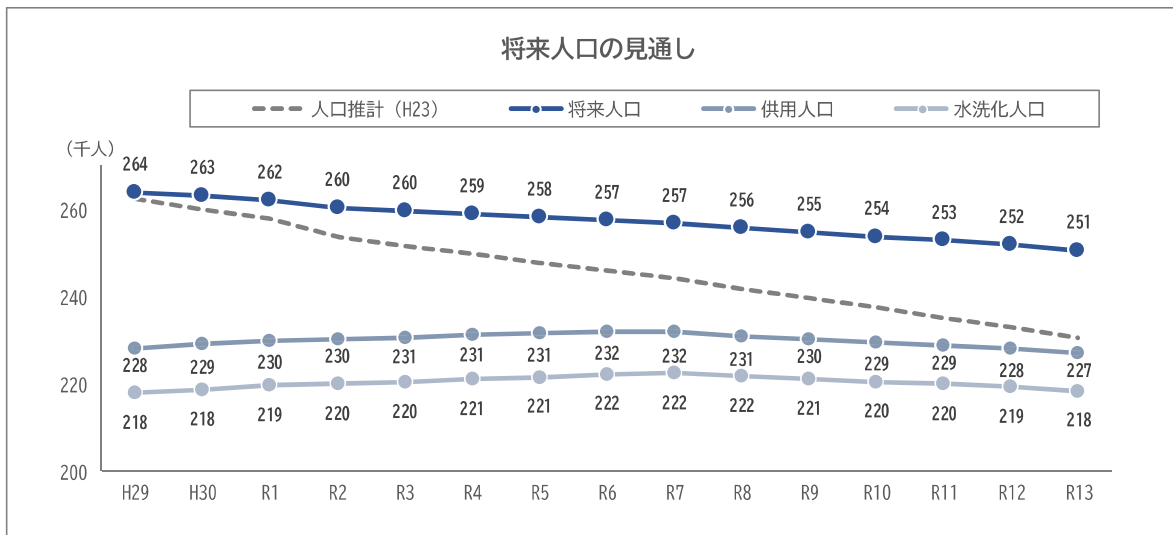
2 財政計画の変更

(4) 収益及び費用の見通し (①将来人口)

◇ 現行の人口推計(※1)は実績との乖離が年々増加

◇ 将来人口は、令和2年度末の実績に、人口推計(※2)の減少率を乗じる方法へ変更

※1…福井市将来人口推計(平成23年度公表)
 ※2…福井市将来人口推計(平成30年度公表)



9

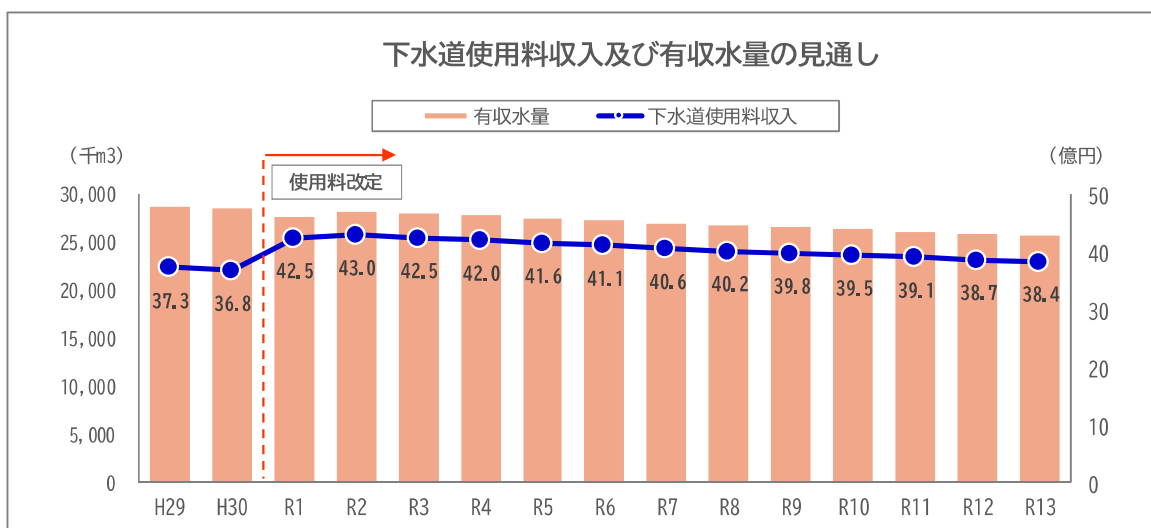
2 財政計画の変更

(4) 収益及び費用の見通し (②使用料収入)

◇ 人口減少及び節水機器の普及により、有収水量(※)は減少傾向

◇ それに伴い、下水道使用料収入も年々減少

※ 使用料収入の対象となる水量

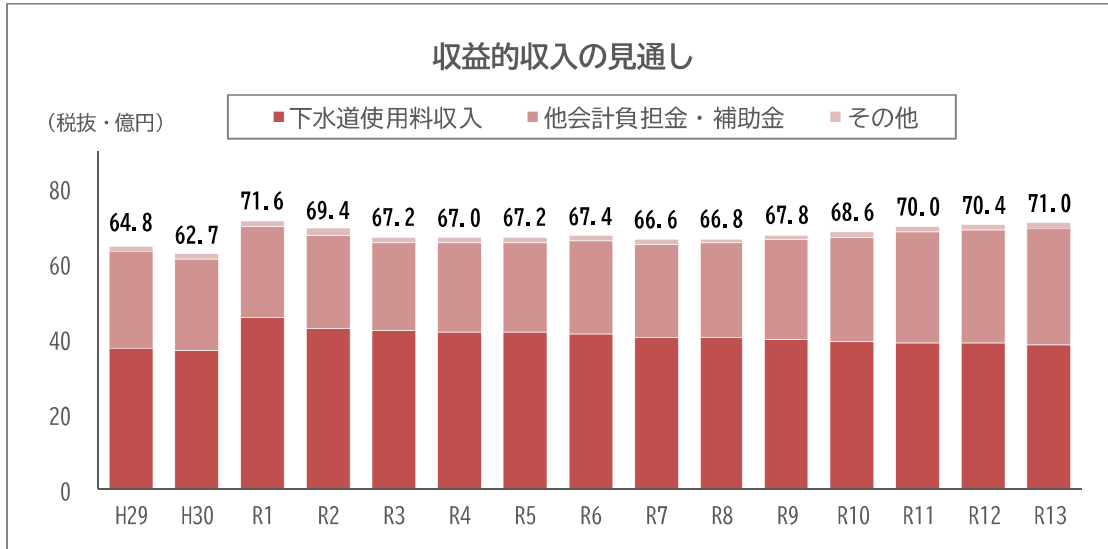


10

2 財政計画の変更

(4) 収益及び費用の見通し (③収益的収入)

◇主な収入は、下水道使用料収入と他会計負担金・補助金(※)



※他会計負担金・補助金は、一般会計の財政状況等に応じて変動する可能性有り

11

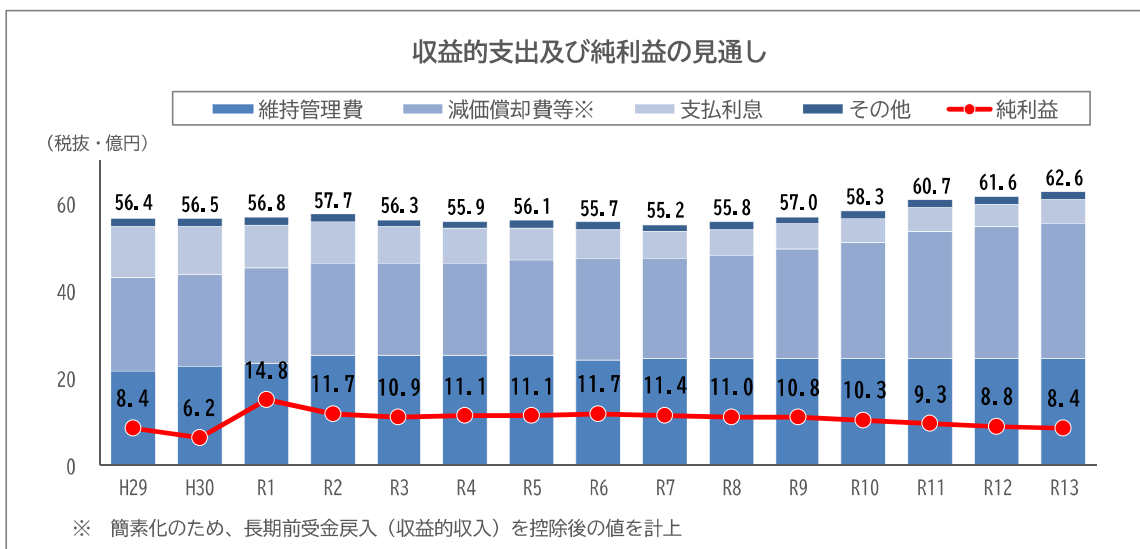
2 財政計画の変更

(4) 収益及び費用の見通し (④収益的支出及び純利益)

◇支払利息は減少するが、建設改良費の増加に伴い、減価償却費は遡増し、支出全体も増加していく見込み

◇結果、純利益(※)は遡減

※ 収益的収入－収益的支出



※ 簡素化のため、長期前受金戻入(収益的収入)を控除後の値を計上

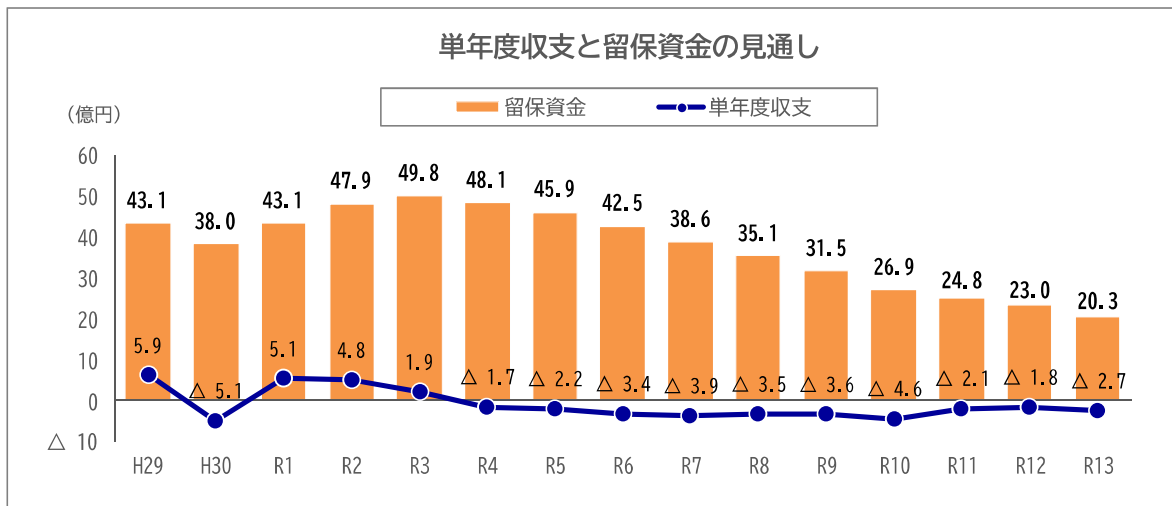
12

3 下水道使用料改定の見通し

(1) 単年度収支と留保資金

- ◇多額の企業債の償還、下水道使用料収入の減少により、単年度収支(※)は悪化し、留保資金（運転資金）も減少していく見込み
- ◇事業継続のため、一定程度の留保資金の確保は必要

※ 一年間の資金の増減額を表すもの

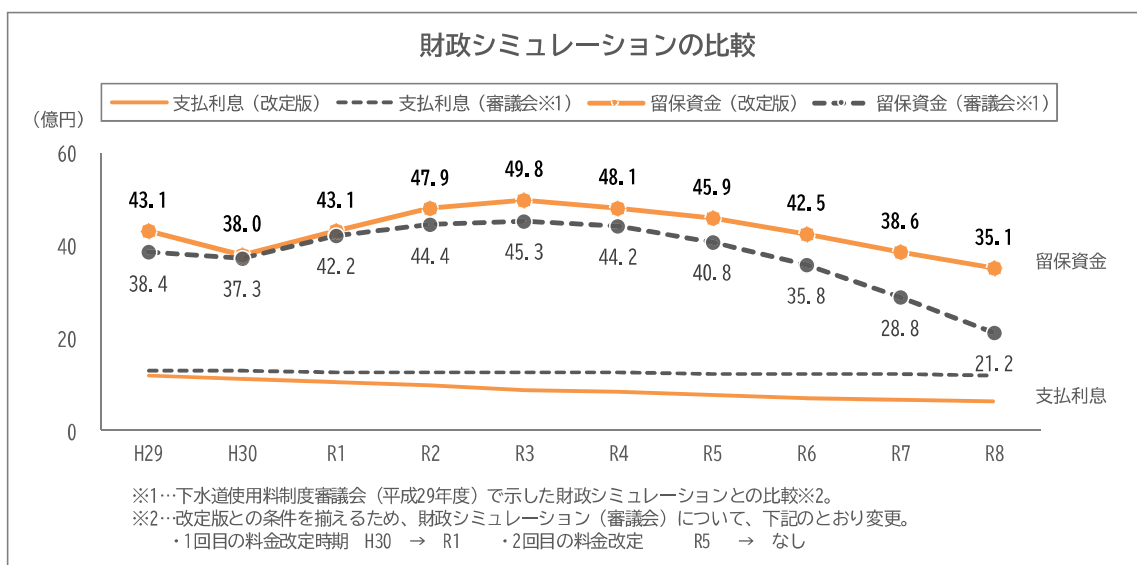


13

3 下水道使用料改定の見通し

(2) 財政シミュレーションの比較

- ◇経営戦略策定時と改定後の財政シミュレーションを比較
- ◇使用料収入の見通しや、支払利息の減少により、留保資金の減少幅は縮小



14

3 下水道使用料改定の見通し

(3) 方向性

- ◇留保資金の見通しを踏まえ、現時点で、経営戦略期間内（令和8年度まで）の使用料改定の必要性は低い
- ◇経営環境は今後も厳しくなる一方、事業を着実に推進していくため、使用料のあり方を定期的に検証していくことが必要

<使用料体系の検証時期（予定）>

年度	H28	H29	H30	R3	R8	R9
使用料体系の検証		使用料の検証 ↓ 改定要	使用料改定	使用料の検証 ↓	使用料の検証 ↓	
経営戦略	計画策定	←----- 現計画 ----->			----- 次期計画 ----->	
			計画改定		次期計画策定	

15

4 経営基盤強化の取組

(1) 目的

- ◇事業継続のため、事業の効率化や収入確保等の取組が重要
- ◇各項目ごとに定めた取組を実施

(2) 事業の効率化

①ストックマネジメント手法の導入

- ◇事業全体でのライフサイクルコストの把握
 - 優先順位に基づく老朽化対策の実施
 - 修繕・改築の最適化

◇期待される効果…

- ・全体での改築事業費の低減化
- ・長期予測を踏まえた事業費の平準化

16

4 経営基盤強化の取組

(2) 事業の効率化

②不明水対策

◇不明水量を減少 → 施設機能の維持、処理経費削減

<不明水対策の手法>



③民間活力の導入

◇運転維持管理業務、使用料徴収事務を民間委託 → コスト削減

◇今後も、コンセッション方式^(※)等の民間活力の導入について、他の自治体の事例も参考にしながら幅広く検討

※ 施設の所有権を公的機関に残したまま、事業の運営を民間事業者が行う方式

<各業務の民間委託への移行>

年 度	H19	H25
下水道施設 運転維持管理業務	直営	民間委託
下水道使用料 徴収業務	直営	民間委託

17

4 経営基盤強化の取組

(2) 事業の効率化

④環境負荷の低減

◇消化ガス^(※)を利用した発電 → 処理場の消費電力を節約

◇国県の施策に併せて、幅広く取り組む

※ 汚泥処理の過程で発生する、メタンを主成分としたガス

⑤施設の統廃合、ダウンサイジング

◇処理場増設、ポンプ場更新に併せた施設の統廃合

→ 1 処理場、1 ポンプ場の廃止

<施設統廃合の予定>

年 度	R2	R4	R6	R11以降
美山浄化センター	増設工事	羽生浄化センター廃止		
足羽ポンプ場			更新工事	木田ポンプ場廃止

⑥広域化・共同化

◇県と市町で、「広域化・共同化計画」を策定

→ 他市町と連携し、施設統廃合、業務の共同発注等を検討

18

4 経営基盤強化の取組

(3) 組織の活性化・人材育成

①人員適正化

- ◇「福井市定員適正化計画」、業務の民間委託
→ 職員数の適正化、人件費の削減

②職員研修の充実

- ◇組織内での研修会の実施 → 人材育成、技術継承

③災害対応

- ◇「福井市下水道BCP」の策定
→ 下水道の早期復旧、訓練
- ◇災害支援協定の締結
→ 災害時の応援体制強化



日本下水道事業団との
災害支援協定の締結（平成28年）

19

4 経営基盤強化の取組

(4) 収入の確保

①接続率の向上

- ◇戸別訪問による接続依頼、貸付金制度^(※)の案内

※ 汲み取り便所等から公共下水道への切替工事資金を無利子で借入れできる制度（上限100万円）

②収納率の向上

- ◇徴収業務の民間委託、滞納整理の強化

③使用料体系の見直し

- ◇平成31年1月 下水道使用料改定（改定率約20%）
- ◇今後も、経営戦略の改定時などに、適正な使用料体系を検証

④国の交付金・補助金等の財源確保

- ◇国への要望活動



4 経営基盤強化の取組

(5) 下水道事業の見える化

市民の方に、下水道の重要性やその役割を知ってもらい、関心を持ってもらうための広報・PR活動

① 広報誌の発行（水道事業と共同）

◇ 広報誌「上下水道のミカタ」を発行

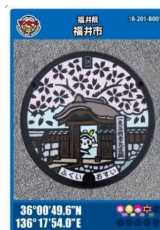


上下水道のミカタ（令和3年7月号）

② マンホールカードの配布

◇ 全国規模で実施されている注目度の高い広報手段

◇ 本市でも2種類のカードを配布



マンホールカード（一乗谷朝倉氏遺跡跡柄）

③ 上下水道展の開催（水道事業と共同）

◇ 上下水道が「水の循環」の中で果たす役割をPR



上下水道展の様子

5 フォローアップ、今後の見直し

(1) 経営戦略のフォローアップ

◇ 毎年、事業計画の進捗状況、経営状況を振り返り

◇ 結果について、ホームページで公表

(2) 経営戦略の見直し

◇ 5年毎に、経営の見通しの試算、使用料の改定の必要性についての検証等を行い、適宜、経営戦略を見直し

◇ 物価上昇等の社会情勢の著しい変化があった場合にも、随時、見直し

<PDC Aサイクルの流れ>

